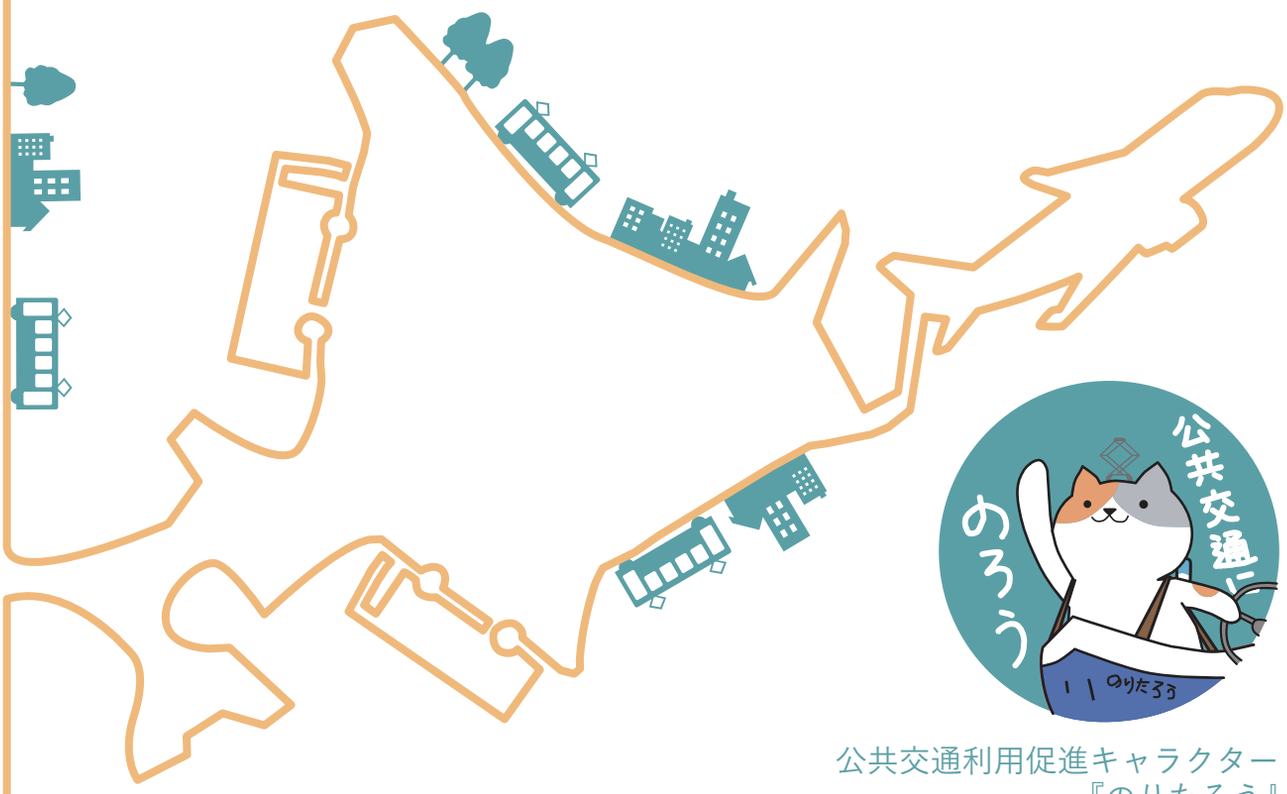
地域公共交通シンポジウム in 釧路

～北海道における持続可能な交通体系の構築に向けて～



公共交通利用促進キャラクター
『のりたろう』

日　時

2017 年 6 月 16 日（金） 13:00-17:00

場　所

アクアベール　末広の間（3 階）

釧路市栄町 8 丁目 3 番地

国土交通省北海道運輸局 主催

地域公共交通シンポジウム in 釧路

昨年 11 月、ＪＲ北海道は、厳しい経営環境を踏まえ、単独では維持困難な線区を公表し、地域における持続可能な交通体系の構築のために地域と協議を行いたい意向を示しました。今後、北海道においては、鉄道、自動車、航空などの交通手段が、それぞれの適性に応じて適切な役割分担をしながら、持続可能な交通体系を構築していく必要があります。既に全国の様々な地域において、事業者、地域住民、行政が連携して地域の公共交通を支え、その維持・活性化を図っている取組事例が見られます。

そこで、北海道における持続可能な交通体系の構築に向けて、他地域での取組事例等に詳しい学識経験者、自治体職員、事業者等からの講演・発表とパネルディスカッションを通じて、皆様とともに検討する機会となるよう、本シンポジウムを開催します。

プログラム

13：00 - 13：05　開会挨拶

・国土交通省北海道運輸局 局長　石﨑 仁志

13：05 - 13：10　来賓挨拶

・北海道　釧路総合振興局 局長　築地原 康志 様

13：10 - 15：50　第１部　講演

● **話題提供①『地域公共交通における最近の動向、国の支援策について』**
国土交通省総合政策局 公共交通政策部 参事官　上田 大輔

● **話題提供②『ＪＲ北海道の現状等について』**
国土交通省鉄道局 次長　水嶋 智

● **基調講演　『「鉄道を残す」から「地域公共交通を守り、育て、活かす」へ！～ それが地域を守る道 ～』**
名古屋大学大学院環境学研究科 教授　加藤 博和 氏

● **事例発表①『和歌山電鐵の取組み』**
和歌山電鐵株式会社・岡山電気軌道株式会社 代表取締役専務　礒野 省吾 氏

● **事例発表②『福井県における地域鉄道支援の取り組み ～ えちぜん鉄道の発足から挑戦を中心に ～』**
福井県 総合政策部 交通まちづくり課 並行在来線対策室 室長　平林 透 氏

● **事例発表③『気仙沼線・大船渡線のＢＲＴによる復旧』**
東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 総合企画本部 復興企画部長　大口 豊 氏

15：50 - 16：55　第２部　パネルディスカッション

● **議題『北海道における持続可能な交通体系の構築について』**

＜パネリスト＞
・和歌山電鐵㈱・岡山電気軌道㈱ 礒野 省吾 氏
・福井県　平林 透 氏
・東日本旅客鉄道㈱　大口 豊 氏
・国土交通省鉄道局　水嶋 智

＜コーディネーター＞
・名古屋大学大学院環境学研究科
教授　加藤 博和 氏

16：55 - 17：00　閉会挨拶

・国土交通省北海道運輸局
交通政策部長　春名 史久

講師プロフィール

加藤　博和　氏（かとう　ひろかず）
名古屋大学大学院環境学研究科　教授
1970 年　岐阜県多治見市生まれ
2001 年に名古屋大学大学院環境学研究科助教授に就任し、2017 年より現職。地球環境にやさしい交通体系・まちづくりのための政策検討をテーマとして研究活動を行う傍ら、地域公共交通プロデューサーとして、自治体・地域住民団体や交通事業者・労働組合等と協力しての「現場」での公共交通企画に携わり、公共交通に関するアドバイザーや講演活動も行っている。